

場面と情景・登場人物の気持ち

場面と情景

① 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

学校の衣ころもがえは六月である。五月下旬げじくんとも思えない暑い朝だったが、三人ともつめえりの学生服を着ていた。どんぶり飯にみそ汁みそじゆ生卵なまたまご、それにアジの干物ひものが、ビニールのしかれたテーブルのつている。

「旅館の朝飯はうまいにやあ。謙吾けんごは、毎朝これを食いよったがや？」ほとんど空になったどんぶりを手にした善岡よしかが、口に飯をふくんだまま問いかけた。  
「そうやけど、おんしゃらあも家うちでおなじもんを食いよったやろうが。」

「そうやけど、やっぱり旅館の飯はうまさがちがうぜよ。」善岡の言い分に、濱多はまたも大きく首を縦たてにふった。

善岡も濱多も、旅立つ友を気づかつたのか、中学三年生なりの言い方で、謙吾を持ち上げていた。

あと二時間半で汽車が出る……。

十一時五分発の準備で出発する謙吾は、食堂の時計を見て残り時間を逆算した。ひとたび高知こうちを出ると、会えるのはいつのことかも知れなくなる。それを考えると、朝飯が進まなくなりそうだった。

濱多も善岡も同じだろうと、謙吾は思っている。が、野球部の善岡、水泳部の濱多は、ふたりともどんぶりをすでに空にしていた。

(山本一力『ワシントンハイツの旋風』より)

(1) この場面は、いつのできごとですか。次の□に入ることを文章からぬき出しなさい。

□の終わりごろ(最後の十日間)のとても暑い□

(2) 登場人物の三人は、旅館のどこにいますと考えられますか。

□

物語文を読むときは、「いつ・どこで・だれが・何を・どうした」のかをおさえる。文章中に印を付けながら読み進めるとよい。

(3) 登場人物の三人は、どのような状況じやうきやうですか。次の□に入ることを文章からぬき出しなさい。

野球部の善岡と□部の濱多が、十一時五分発の□

□の汽車に乗って□をあとにして旅立つ謙吾を見送ろうとしている。

後半部分から、三人が中学三年生であること、汽車を待っていることなどがわかってくる。それをおさえた上で、最初から読み直してみると、場面の状況がしっかりとつかめるだろう。

② 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

ぼくたち三人は、小川町おがわのほうに走って向かった。家から小川町の児童公園なんて、走れば十分くらいでついてしまうところだ。

「おじさん、ヨウコ、絶対にいるよ」

走りながら、三浦みづらが父さんに声をかける。

「そうだよな。まったくあいつは、本当に方向おんちなんだから」

父さんがうれしそうにならず。

「おじさんがそこにいけば、もう、匂においでわかってとんでくるんじゃないのかなあ」

「そうだな。ヨウコは鼻がすぐくきくからな」

ぼくは、二人のはずんだ会話をだまってきた。いやな気分だった。じゃまされた気分だった。

児童公園についてのはいいけど、ヨウコはいなかった。そこは、さがしまるには小さすぎる公園で、しかたがないので、うけ持ちのエリアを決めて、ひとりずつわかれて公園のまわりをさがすことになった。これもまた、三浦のアイデアだった。

「ヨーコオー！ ヨーコオー！」

父さんは公園についてからずっとさけびっぱなしだった。ぼくはそんな父さんの姿すがたを三浦に見られて、はずかしかった。だけど、三浦はその姿を見るところところにしょになって、さけびだした。

「ヨーコオー！ ヨーコオー！」

おどろいた。三浦は、マジだった。ふざけている感じじゃなかった。

た。

(草野たき『ハーフ』より)

(1) 線①「小川町のほうに走って向かった」とあるが、それは何のためですか。「……を……ため。」という形で答えなさい。

□

まず、最後まで一読すること。読み続けると、三人が小川町の児童公園に向かっている理由がわかる。

(2) この文章は二つの場面に分けられます。前半の場面は、だれとだれの会話が中心になっていますか。

□と□

本文の11行目までが前半の場面。前半は家から児童公園に向かっている場面で、後半は児童公園の場面である。

(3) 線②「その姿」とは、だれがどうしている姿ですか。

□

直前に「そんな父さんの姿」とある。どんな姿なのかを、その直前の文中のことばを使ってまとめること。

要点のまとめ

● 物語文を読むときは、「いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように」(5W1H)をどうしたのかを確かめる。  
● 風景の描写びやうや会話文などを手がかりに場面の状況をおさえる。

# 登場人物の気持ち

③ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

ライオンが、ガツと飛びかかってしまえば、もう、おしまいですが、起き上がりもしなければ、飛びだもしない。ちよつと首をもたげただけで、じいっとしたままでいる、このライオンの態度は、なんとも言えず不気味なものでした。

見物人は手をにぎりしめたまま、見つめていました。にぎりしめていたこぶしが、かすかにふるえています。やれるもんなら、早くやっちまってくれ！ 見物人は、もう見ているのがたまらなくなりました。

舞台のほうから、すうつと、冷たい風が吹いてきました。

その時、ライオンがぬつと立ち上がりました。見物人たちは、また、急に、ぎくつとしました。立ち上がったライオンは、オリのすみにちぢこまっている子犬のそばに行きました。そして、鼻を近づけて、においをかぎはじめました。

においをかいだあと、ライオンはパクリとやるのだろうか。

ヒーツという子犬の悲鳴が、今にも聞こえてくるような気配です。見物人は

しかし、ライオンは飛びかかりません。鼻の先で、小さな動物をなでているように見えます。いつまでにおいをかいでいるのでしょうか。そのうちに、子犬のちぢこめていたしっぽが、少しずつ動きだしました。しっぽが動きだしたなど思っていると、今度は、子犬が急にくるりと、あお向けになりました。あお向けになって、両足をあげ、しっぽを前よりも大きく振りまわりました。

(山本有三『ライオンと子犬』より)

④ 次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

わたしとミーナは、潔く負けを覚悟した。負ける相手がソ連でも東ドイツでもなく、ブルガリアというのは予想外だったが、とにかく、たとえ金メダルが獲れなくても、かれらがどれほどの努力をしたか、わたしたちには分かっている。「ミュンヘンへの道」を見てよく知っている。だから、たとえ負けても、どうか泣かないでほしい。うつむかないでほしい。試合が進むにつれ、いつしか勝利を願う気持ちをわすれて、そう願うようになっていた。

準決勝、日本はブルガリアに第一、第二セットを連取された。コートにはいつものメンバーがそろっているはずなのに、どこか微妙に調和がくずれてしまっていた。速攻も時間差攻撃も読まれ、ことごとくレシーブされたうえに、ブルガリアのエース、プラタノフに強打を打ちこまれた。

テレビの前にはローザおばあさん、米田さん、伯母さん、全員集まっていたが、みな口数が少なくなっていた。プラタノフのスパイクが決まるたび、わたしとミーナはだまって目と目を見合わせ、泣きそうになるおたがいの気持ちを支え合っていた。

瀬戸際に追いこまれた第三セット、コート上に猫田と森田の姿はなかった。大古と横田以外のメンバーは全員ベンチに下がり、代わりに南、中村、嶋岡、西本が入っていた。かれなくして金メダルはない、と言われた猫田が交代させられたことで、ミーナは荒々しくなっていた。

(注) \*ミュンヘンへの道一九七二年のミュンヘンオリンピックに向けての男子バレーボール日本代表の苦闘をえがくテレビ番組。

(1) 線①「見物人は……見つめていました」とあるが、このとき

- ア わくわくする気持ち。
- イ いたたまれない気持ち。
- ウ なげかわしい気持ち。
- エ せかせかした気持ち。

ライオンが子犬に飛びかかりそうに飛びかからず、じいっとしている。その不気味なライオンの様子を見ている見物人の気持ちを読み取る。続く三つの文を手がかりにしたい。

(2) 線②「ぎくつとしました」とあるが、見物人はライオンがどうすると思ったのですか。簡潔に答えなさい。

「ぎくつ」は、おどろきや恐怖を感じたりしている様子を表すことば。ぬつと立ち上がったライオンは何をするのか。前後の内容を参考に、見物人の思いを想像する。

(3) に入ることばとして最も適当なものを次の中から選びなさい。

- ア 肩をすくめました
- イ 息をはずませました
- ウ かたずを飲みました
- エ 目を白黒させました

緊張感がただよう場面。見物人はこのなりゆきを心配して見つめている。「息をこらす」などと似た意味のことばを選ぶ。

(1) 線①「そう願うようになっていた」とあるが、どう願うようになっていたのですか。文章中からぬき出しなさい。

直前の内容に注目します。

(2) 線②「プラタノフに強打を打ちこまれた」とあるが、このとき「わたし」はどのような思いで試合を見つけていましたか。文章の中のことばを使って、十二字以内で答えなさい。

続く段落の後半の一文に、「わたし」とミーナの様子や気持ちを書かれている。

(3) に入ることばとして最も適当なものを次の中から選びなさい。

- ア 動揺
- イ 安心
- ウ 感心
- エ 満足

続く一文「のどを吹きぬける……」をヒントに考えよう。ミーナの気持ちが象徴的に表れている。

## 要点のまとめ

- 登場人物の発言や行動には、それぞれ確かな理由がある。その背後にある人物の気持ちを読み取る。
- 人物の心情は発言だけでなく、表情や様子にも表れる。

漢字・語句(1)

漢字の知識

① 漢字の成り立ち

・象形文字……具体的な物の形をかたどってできた字。

例 川・馬・火

・指事文字……目に見えないことがらを印や記号で表した字。

例 一・三・上

・会意文字……それぞれの意味をもつ字を組み合わせた字。

例 林(木+木)・鳴(口+鳥)

・形声文字……音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせた字。

例 粉(「分」が音、「米」が意味)

② 漢字の部首

例 体(にんべん)

例 部(おおざと)

例 安(うかんむり)

例 熱(れんが・れつか)

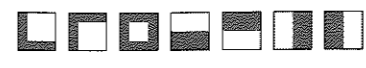
例 国(くにがまえ)

例 広(まだれ)

例 遠(しんによう・しんにゆう)

③ 書き順

漢字は原則として、上から下へ、左から右へ、外側から内側へと書く。縦横が交わる場合は、ほとんど横画を先に書く。左右のはらいは、左ばらいを先に書く。



漢字の読み方

① 音と訓

・音読み……昔の中国の発音にもとづいた読み方。

・訓読み……日本のことばを漢字にあてはめた読み方。

例 右 ↓ 音読みは「ウ」「ユウ」。訓読みは「みぎ」。

例 覚 ↓ 音読みは「カク」。訓読みは「おぼ」「さ」。

\* 音読みしない漢字「王・棒」や訓読みしない漢字「箱・貝」もある。

② 同音異字・同訓異字

・同音異字……同じ音をもつ異なる漢字。

例 ・サ ↓ 左・差・査

例 ・ケイ ↓ 形・系・軽

③ 同音異義語

・同じ音で意味の異なる熟語。

例 ・あう ↓ 意見が合う

例 ・あう ↓ 友だちに会う

例 ・うつつ ↓ 部屋を移す

例 ・うつつ ↓ 写真を写す

④ 同音異義語

・同じ音でもつ場合。

例 ・カイトウ ↓ テストの解答

例 ・カイトウ ↓ アンケートの回答

例 ・サイカイ ↓ 試合を再開する

例 ・サイカイ ↓ 親友と再会する

⑤ 同音異義語

・二字ともちがう場合。

例 ・ケントウ ↓ 見当が外れる

例 ・ケントウ ↓ 議案を検討する

例 ・タイセイ ↓ 新しい体制

例 ・タイセイ ↓ 受け入れ態勢

例 ・コウセイ ↓ 文章の構成

例 ・コウセイ ↓ 公正な判断

例 ・キコウ ↓ 熱帯の気候

例 ・キコウ ↓ 国連の機構

① 上のまとめを参考にして、次の問いに答えなさい。

(1) 次の漢字の成り立ちを、あとのア～エから選びなさい。

① 晴 \_\_\_\_\_ ② 山 \_\_\_\_\_ ③ 森 \_\_\_\_\_

④ 下 \_\_\_\_\_ ⑤ 手 \_\_\_\_\_ ⑥ 銅 \_\_\_\_\_

ア 象形文字 イ 指事文字

ウ 会意文字 エ 形声文字

(2) 次の漢字の部首の名前を、あとのア～ケから選びなさい。

① 持 \_\_\_\_\_ ② 花 \_\_\_\_\_ ③ 間 \_\_\_\_\_

④ 語 \_\_\_\_\_ ⑤ 進 \_\_\_\_\_ ⑥ 実 \_\_\_\_\_

⑦ 固 \_\_\_\_\_ ⑧ 店 \_\_\_\_\_ ⑨ 都 \_\_\_\_\_

ア ごんべん イ てへん ウ おおざと

エ うかんむり オ くさかんむり カ くのがまえ

キ もんがまえ ク まだれ ケ しんによう

(3) 次の漢字の太い部分は何画目に書きますか。漢数字で答えなさい。

① 右 \_\_\_\_\_ 画目 ② 近 \_\_\_\_\_ 画目

② 上のまとめを参考にして、次の問いに答えなさい。

(1) 次の——線と同じ読みの漢字を、それぞれア～エから選びなさい。

① 消息を絶つ。 \_\_\_\_\_

ア 打つ イ 放つ \_\_\_\_\_

ウ 待つ エ 建つ \_\_\_\_\_

② かけて細工をする。 \_\_\_\_\_

ア 公園 イ 口調 \_\_\_\_\_

ウ 孝行 エ 強圧 \_\_\_\_\_

(2) 次の——線のカタカナを漢字で書きなさい。

① \_\_\_\_\_

① 流行をオウ。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

① ぎずをオウ。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 湯をサます。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 目をサます。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① ショウスウ点を打つ。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① ショウスウ意見に耳をかたむける。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 選手にシジを出す。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 国民のシジを得る。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① ショウスウ点を打つ。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 天地をソウゾウする。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

① 未来の世界をソウゾウする。 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_